

西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

1月号



単元到達度評価問題の活用 昨年度の課題から 指導のポイントを探る!(I月)

小学校外国語科の評価の充実を図る! ~ 「話すこと[発表]」における評価のポイント編~

「特別の教科 道徳」の評価の充実を図る!

子供たちの学力向上を確実に図る 校内研究の充実 ~ | 年間の校内研究を振り返って~

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 問題行動等への対応

「特別支援教育ほっと通信」 引継ぎのポイント

西部地域開催 鳥取県エキスパート認定教員による 公開授業の御案内

単元到達度評価問題の活用 昨年度の課題から指導のポイントを探る! (1月)

西部教育局 お役立ち情報 令和3年1月号

第4学年「調べ方と整理の仕方」

しげるさんは、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数をもとめる ために、実1をまとめ高すことにしました。

下の**表2**は、<u>5年生の結果</u>をまとめ直したものです。

表2 5年生のハンカチ・ティッシュペーパー調べの結果

		ティッシュベーバー		A 41
		持ってきた	持ってこなかった	승計
ハンカチ	持ってきた	ア	1	62
	持ってこなかった	ウ	1 %	I
승하		- 61	オ	70

しげるさんは、**数2**をもとに右のような式をつくり、 ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた 5年生の人数を54人と求めました。 【しげるさんの式】 70 - 61 = 9 9 - 1 = 3 62 - 8 = 54

【しげるさんの式】の中の、「9」は、ティッシュベーバーを持ってこなかった 人数の合計を表しています。この「9」は**表2の才**にあてはまります。

(1)【しげるさんの式】の中の「8」はどのような人数を表していますか。 言葉を使って書きましょう。(答え2点)

(単元到達度評価問題 第4学年 昨年度1月実施分より)

二次元表に表すことで、見えていなかった 情報が見えるようになり、情報をより分析的 に考察することができるようになります。指導 に当たっては、目的に応じて情報を収集して 表に整理し、表からわかることを読み取る活 動を設定することが大切です。

情報を表に表し、分析的に考察することで事象の特徴や傾向を捉える。

表を二次元表に作り直してみたけど、「両方持ってきた人」は どこを見ればいいの?



表を縦に見たらいいのかな?横にみたらいいのかな?

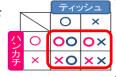


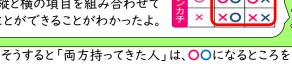
二次元表の理解を深める ための教師の問いかけ 表からどんな項目が読み取れるのかな?



「持ってきた」を〇、「持ってこなかった」を ×で表して表に当てはめてみたよ。そうす ると、表の縦と横の項目を組み合わせて 読み取ることができることがわかったよ。

見ればいいのだね。





発見! な

なるほど、そうすると、イのところは、「ハンカチを持ってきた【〇】」と「ティッシュペーパーを持ってこなかった【×】」が重なっているから、「ハンカチを持ってきてティッシュペーパーをもってこなかった人数」の項目を表していることがわかるね。これは、表 1 からでは読み取れないね。

集めた資料を、2つの項目で分類整理して表に表すと、より多くの特徴や傾向を読み取ることができるね。





収集した情報を整理するとき、二次元表が便利な時は、 他の教科でも使ってみたいな。

第5学年 [害

3 わかなさんは、せんざいを買いに行きました。 家で使っているせんざいが、30%増量して売られ でいました。増量後のせんざいの量は520mLです。 増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と 答えを書きましょう。 (式1点、答え1点)



(女子)

(単元到達度評価問題 第5学年 昨年度1月実施分より)

割合は、依然として課題の多い学習内容です。割合を表す数値は、基準量に対する大きさを表すものであるという意味を確実に理解しておく必要があります。

指導に当たっては、問題場面を図に表すことで、それぞれの数量の関係を的確に 把握できるようにすることが大切です。

基準量を意識しながら、基準量と比較量、割合の関係を正しく 捉える。 30%は0.3倍のことだから、□×0.3=520で求められると思う。

□=520÷0.3になるね。計算すると約1733mLで、 増量前の量としては多すぎるよ。

そもそも「30%増量」って、どれくらい増えたことになるのかな?

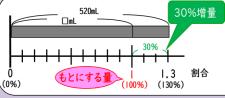


基準量、比較量、割合の関係を

正しく捉えるための働きかけ

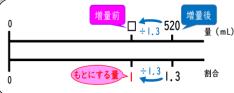
増量前後の関係を 図に表してみよう。





増量前から30%増えたということだから、増量前を100%(1)とすると、増量後は130%(1.3)にあたる量になるね。





増量前がもとにする 量だから、1にあた る量を求めることに なるよね。だから、 520÷1.3で求められるね。



「30%増量」は、増えた量のことだから、もとにする量の 100%と合わせて考えないといけないのだね。



もとにする量やくらべる量、割合の関係を図に表すと、何を求める のか、どんな式で求められるのかがわかりやすくなるね。

● すべての子供に ■できた」「わかった」を!

🙀小学校外国語科の評価の充実を図る!

~「話すこと [発表] 」における評価のポイント編~

西部教育局 お役立ち情報 令和3年 | 月号



7月号では「書くこと」、II月号では「読むこと」の評価について確認したけれど、「話すこと[発表]」の評価をするためには、児童の話していることをどのように見取ればよいのでしょうか。

事例

評価の場面(第4時/全8時間)

クラスの友だち同士で発表するというゴールに向け、 指導者のモデルや、指導者とのやり取りを参考に地域 への願いなどをペアで、相手を替えて複数回話す。

目標:「**話すこと**[**発表**]」ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

単元の評価規準の例(話すこと[発表])

知識・技能

施設・建物を表す語句やWe (don't) have ~. We can enjoy/see ~. I want ~. の表現について理解している。 自分たちが住む地域について、施設・建物を表す語句やWe (don't) have ~. We can enjoy/see ~. I want ~. の表現等を用いて、自分の考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。

思考・判断・表現

自分たちが住む地域について相手に伝わるように、自分の考えや気持ちなどを話している。

知識・技能

【十分満足できる状況A】

自分たちの住む地域について、 We don't have ~. I want ~. I like ~.Do you like ~? など の<u>既習表現を正しく用いて、</u>欲し い施設やその理由について、<u>自分</u> の考えや気持ちなどを話している。

こう見取る!(例)



We don't have a library. I want a library. I like books. (本を開くジェスチャー) Do you like books?

思考・判断・表現

【十分満足できる状況A】

自分たちの住む地域について、 I like books.と<u>理由を言ったり</u>、 ジェスチャーを使ったり、Do you like ~?と<u>相手に問いかけたり</u>し ながら<u>相手がよく分かるように</u>話し ている。

【努力を要する状況C】

ある施設やない施設を表す表現 について理解が十分でない。

また、それらを使って<u>自分の考えや</u> 気持ちを十分に話せていない。



We ... don't ... a library. OK? I like books.

I ... I ... like a library.

【おおむね満足できる状況B】

言いよどんだりする場面はあるものの、自分たちの住む地域について、OK?などと相手の理解を確認したりI like books.と理由を言ったりして、自分の考えや気持ちなどを相手によく伝わるように話している。

評価を指導に生かすことが大切です



語句や表現を十分に聞かせたり、使ったりする機会を設け、改善状況を見取りながら第7時の発表につなげました。



We have a book store. We have a stadium. But we don't have a aquarium.

I want a aquarium. What do you want?



We ... don't have a library. I ... want a library.

Hello. This is my town. We...don't have a library. OK? I like books.

I ... I want a library. We have a park. Big park. I ... Jogging. OK? Thank you.



言いよどむ場面や表現の間違いが一部見られるものの、<u>おおよそ自分の考えや気持ちが発表できているので、おおむね満足できる状況Bと判断した。</u>

(第7時における児童2の発表)





「特別の教科 道徳」の評価の充実を図る!

西部教育局 お役立ち情報 令和3年1月号

道徳科における評価の基本的な考え方



児童生徒にとって評価とは、 自らの成長を実感し、意欲の 向上につなげていくもの





教師にとって評価とは、目標 や計画、指導方法の改善・充実 に取り組むための資料

【道徳科の評価の在り方】

- ◆個々の内容項目ごとではなく、※大くくりな まとまりの中で、道徳性に係る成長の様子 を把握すること。
- ◆児童生徒の成長を受け止め、認め、励ます 個人内評価であること。
- ※年間や学期といった一定の時間的なまとまり

抜粋:小学校学習指導要領解説pp. 100-114 中学校学習指導要領解説pp. | | | - | | 6

【指導要録への記述】

一人一人の児童生徒の学習状況や道徳性に 係る成長の様子について、発言や会話、作文・ 感想文やノートなどを通じて、特に顕著と認め られる具体的な状況を記述する。



参考:令和2年度「鳥取県学校教育のめざすもの」 pp.147 - 154

学校として組織的・計画的に行う評価に向けて



複数の指導者で 学習状況の見取りを 共有し、信頼性・妥当 性を確保しましょう。

【組織的・計画的な評価の推進例】

- □学年ごとに評価のために集める資料や評価方法等を明確にしておく。
- □評価結果について教師間で検討し、評価の視点などについて共通理解 を図る。
- □評価に関する実践事例を蓄積し、共有する。

【実践例】校内研究会や学年会等で、児童生徒の振り返りをもとに学習状況の見取りを共有する。

手順(1) 同じ資料(または同じ内容項目)を扱った授業の振り返りを持ち寄り、内容項目の指導の視点や本時の ねらい等を確認する。

資料名:カメは自分を知っていた(中学校 | 学年) A-(3) 向上心・個性の伸長

本時のねらい:百人一首大会でライバル関係にある生徒たちの物語を通して、自己を知り、向上心をもって 物事に取り組む姿勢について考えさせ、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てる。

手順② 評価の手がかりとなる見取りの視点を確認する。

【道徳的価値の理解を自分自身との 関わりの中で深めているかどうか】 (例)現在の自分自身を振り返り、自ら

の行動や考えを見直している。

【一面的な見方から多面的・多角的 な見方へと発展させているかどうか】 (例)自分と違う立場や感じ方、考え

方を理解しようとしている。

R2「鳥取県学校教育 のめざすもの」149 ページにも、評価の視 点例を示しています。

学習指導要領解説で指導の視点を確認



手順③ 振り返りの記述を視点をもとに評価し、結果について教師間で検討する。

【生徒Aの振り返り】

ぼくはマラソンが苦手だけど、毎日コツコツ練 習することで記録を上げることができた。今日 <u>の学習で、努力を積み重ねられるのが自分の</u> よさだと気付いた。これからも自分のよさを生

生徒Aについては、自分のこれからの生き方 についての新しい気付き・考えの記述がみら れますね。これは【道徳的価値の理解を自分 自身との関わりの中で深めているかどうか】 を評価する手がかりになりますね。



【生徒Bの振り返り】

私ははじめ、自分の「よさ」が一つも思いつき ませんでした。でも、話し合いの中で、友達が 色々な視点から見た私の「よさ」を教えてくれ ました。友達が気付かせてくれた「よさ」をこれ からもっと伸ばしていきたいと思いました。



生徒Bについては、自分と違う意見を理解しよう とすることで多面的・多角的に考えようとしてい る記述がみられますね。これは【一面的な見方 から多面的・多角的な見方へと発展させている かどうか】を評価する手がかりになりますね。